

# 大井川の節水対策、流量改善の取組

## 節水対策の取組

水需要に対して水資源が不足気味の河川で、降雨が少ないと渇水状態になる。

○節水対策を伴う深刻な渇水が大井川では頻繁に生じ、この25年間（H5～H29）のうち、節水対策を行った年度は、16に及ぶ。

○平成29年は、3月～4月、6月～8月までの間、平成30年は、2月～3月の間、大井川では節水対策（5～10%の取水制限）を実施

## 流量改善の取組

昭和30年代の相次ぐ水力発電所の建設により、流水の大半がダム・えん堤から取水され、発電所へ導水されたため、上・中流域を中心に流況が悪化

○昭和50年代後半から、清流回復を望む声が高まり、ダムから水を取り戻す取組

○自然環境や、流水の利用について調査し、必要な水量を検討

⇒これにより、昭和63年に大井川中流にある中部電力塩郷えん堤から3m<sup>3</sup>/s以上の水が、平成18年に上流の東京電力田代ダムから1.49 m<sup>3</sup>/s（夏期）の水が大井川に放流



（具体例）田代ダム放流の様子：平成26年10月31日

